こんな考えで仕事を進めていきます

生活環境の整備

道路整備

▽**国道**　8号の四車線化の早期実現に努めるとともに、交通安全施設などの整備や中央通り交差点改良事業に取り組みます。

▽**県道**　臼井バイパスや白根バイパスの早期完成に努め、他の県道についても県と協議のうえ整備促進に努力します。

ほ場関連道路舗装（北田中地内）

▽**市道**　市民の皆さんの要望に応じながら、緊急度の高い路線を重点的、効率的に、補助制度を活用し、整備促進を図ります。具体的には、菱潟新田・田尾線の改良整備、茨曽根・兎新田線の交通安全施設整備事業、諏訪木・鍋潟線の改良舗装工事、須藤小路線の歩道設置、小蔵子、白蓮線の臼井地内約四百六十㍍の改良整備などに取り組みます。

▽**農道**　継続事業として実施している大郷農免農道事業は、本年度完成を目指して努力します。

▽**都市計画街路**　鰺潟・古川線は六十五年度完成に向け努力し、白根総合公園への主要道路となる一の町下江線は、本年度から沿道区画整理型街路事業の調査費を導入し、事業の推進を図ります。

▽**ほ場関連道路**　当初計画の三十六路線五十七キロ㍍のうち、現在まで二十六路線三十六キロ㍍（進ちょく率六三％）が完了する予定で、残事業についても早期完成に努力します。

防火水槽の設置工事（下八枚地内）

農村総合整備モデル事業　初の農村公園を建設

農村総合整備モデル事業は、着工以来十三年を経過し、これまでに十四億九千百万円をかけて道路、排水路、防火水槽などの整備を図ってきましたが、四億四千二百万円の残事業についても、早期事業完了を目指して努力します。本年度は、本市初の農村公園を茨曽根地区に建設します。

地盤沈下対策事業

今までの進ちょく率は七八・一％で、残事業は約七十八億円です。事業を促進するため、土地改良区と連携を密にして国や県に働きかけていきます。

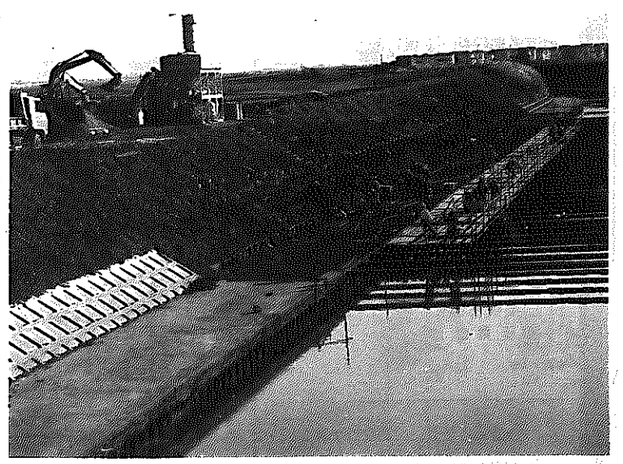
河川整備

六十二年度に引き続き、次のとおり実施される予定です。これらの事業が早く完了するよう、国や県に働きかけます。

▽**信濃川関係**　鷲ノ木水門改築事業の年度内完成と、堤防低部対策事業、信濃川・中ノ口川合流点処理事業の早期完成に努めます。

▽**中ノ口川関係**　脆弱堤防対策と信濃川からの逆流防止対策を、中小河川整備改修事業や中ノ口川筋災害復旧工事とあわせ、県営事業として促進に努めます。

このほか、新しく設置される財団法人河川情報センターに加入し、集中豪雨や河川、流域などの情報を常に的確に把握して、治水、利水対策などに努めます。


地盤沈下対策工事（大通川）

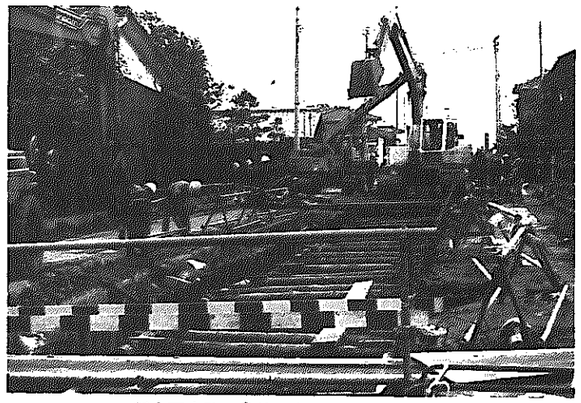
中ノ口川の提防改修工事は、中小河川改修事業と河川災害復旧事業を並行して進められています

排水対策

白根郷内の排水は、全量を機械排水に頼っていますが、現在の汎用農地化、宅地開発などのため、排水処理機能が十分とは言えなくなりました。このため、六十一年度から国営土地改良事業として調査が進められているので、その促進と早期事業化に努めます。

▽**集落排水**　大半が農業用施設を利用しているので、施設管理者の土地改良区と協議しながら、土地改良施設維持管理適正化事業などの制度を活用し整備を促進します。

▽**都市下水路**　四十五年から計画的に実施しており、六十二年度で幹線排水路とポンプ場が完成しました。本年度は、補助対象となる支線の完成も予定しており、他の支線も早期完成を目指します。


都市下水路の幹線工事は62年度で完了

地域開発

下塩俵ニュータウン建設計画に基づく北部地域の開発について、白根第二土地区画整理組合の区画整理事業が六十三年度に完了する予定で、さらに白根第三土地区画整理事業も本年度予定されており、計画の八十七％が早期に完成できるよう努力します。

住居表示

実施計画第一次分として国道西側の市街地分諏訪木、日の出町から魚町、葵町まで代表者への説明会を終え、現在関係者と協議を進めています。

国土調査

四十二年度から事業に着手して以来、計画面積の八五・五％を終え、本年度は新飯田地区南部の継続と、新たに新飯田地区北部〇・九四平方キロ㍍を実施し、残る四・〇二平方キロ㍍も今後計画的に整備します。

交通安全対策

負傷者数は横ばいながら、死亡事故や発生件数とも増加傾向にあります。こうした事態を回避するため、関係機関や団体と連携を密にし、よりいっそう交通安全思想の普及徹底を図るとともに、交通安全施設の整備を進めます。

消防業務

六十二年の市内の火災焼失面積、損害額は減少したものの、発生件数は前年を上回りました。本年度も火災予防の徹底に努めるとともに、早期発見、早期通報による初期消火活動に努め、被害の軽減を図ります。また、消防団員の定期的な教育訓練で、その資質向上に努めます。

消防団の連合演習で訓練の成果を披露